

特集

レッツゴー！トイレ探検

みんなが使いやすい
トイレとは

最近の公共施設や商業施設で「オストメイト対応トイレ」や「こどもトイレ」などをよく目にします。トイレにある設備を見て「これは誰が使うのだろう？」「どのように使うのだろう？」と疑問に思ったことはありませんか？

トイレは誰もが関わる大切な施設であり、みんなが使いやすいようさまざまな進化を遂げています。そこでいわきのトイレ事情について調べてみました。



車椅子対応トイレ



車椅子を使用している方などが利用できるよう、入り口は幅広く開け閉めしやすい戸が使用されており、便器周りもスペースが確保されています。便座へ移りやすいように手すりがついています。



子ども用トイレ



小さいお子さんが使いやすいよう、低い位置に便器や洗面所が設置されています。

オールジェンダー
トイレ

性別問わず誰でも利用できるトイレ

オストメイト対応
トイレ

人工肛門、人工膀胱ぼうこうを造設した方（オストメイト）が、ストーマ装具や汚れ物を洗うための流し台と、汚れた腹部を洗うことができる水栓器具などを設けたトイレ。水栓器具の高さが立ったまま利用できるよう配慮されています。



TOILET

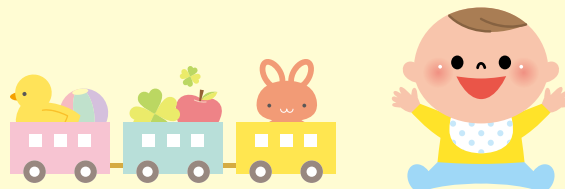




赤ちゃんコーナー



赤ちゃんのおむつ交換に使えるベッドや授乳スペースなどがあり、周りから見えないように鍵付きの戸がついているなど、さまざまな配慮が見受けられます。



ユニバーサルシート



ユニバーサルシートとは、乳幼児等のおむつ交換のために設置するベビーシートとは異なり、大人も横になれる大型のシートで、車椅子などから乗り移りやすい高さに設置されています。主に多目的トイレ内に設置され、障がいのある方のおむつ交換等に利用されるほか、高齢者や子ども連れの方など、多くの方が多目的に利用できます。

探検で見つけたトイレのいいね 👍



- ①生理用ナプキンが出てくるトイレ、いいね！
- ②男性トイレのサニタリーボックス、いいね！
- ③男性トイレのベビーチェア、いいね！
- ④音声ガイドが流れるトイレ、いいね！
- ⑤施設内のほじょ犬用トイレ、いいね！

